執筆または関連記事

2018 年

・信濃毎日新聞　1 月 24 日　コンパスドミニカ共和国「数学プロジェクト」相互に向上する出会い契機／・理窓　2018.1　No.496　　P7.　第 9 回坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト，P20. 謹賀新年　「理窓博士会　会長」／・第 58 回自然科学観察コンクール　入賞作品ガイド集 p5　審査の総評　p23　秋山仁特別賞（中学校の部）の審査評，p43　秋山仁特別賞（小学校の部）の審査評／・第 9 回　東京理科大学坊っちゃん科学賞　研究論文コンテスト作品集　表紙・裏表紙　コンウェイ図形　講評と最優秀賞校の発表・表彰式／・佐久教育　第 53 号　2 月 22 日　佐久教育会会誌会報　P14-28　佐久教育会講演会「今日は何人の人を喜ばすことができるかな」，P29「講演会をお聞きして」　　新海理香子 記，P30「秋山仁先生の講演を聞いて」柳澤和彦　記／・WEBRONZA　2 月 15 日　「ドミニカ共和国で数学の面白さを伝えてきた」／・WEBRONZA　2 月 16 日「日本の数学魔術師アキヤマ、ドミニカ共和国に現る」高橋真理子／・信濃毎日新聞　2 月 28 日　コンパス「五輪で感じた選手の向上心　好きだからとことん努力」／・毎日新聞　夕刊とデジタル　2 月 28 日　特集ワイド「憲法改正国民投票、誰もが納得するルールは「絶対得票率」が疑問を払拭」／・SUNDAI 数台予備学校　by AERA　アエラムック朝日新聞出版 3 月 15 日p22「高校とは違う学問の世界に触れて衝撃を受けた」山崎 直子 p92-93 「数学渡世人―天性の才能はない。だからこそ、上手に教えることができた」秋山仁／・GSC 通信　VOL.11　巻頭言　グローバルサイエンスキャンパス事務局「生徒自らが課題を見つけ、考え、皆と議論し、最終的に自分の頭で納得する授業が望まれる」／・ドミニカ共和国　数学教育支援プロジェクト報告会　大学企画部学長事務課　ポスター・チラシ「秋山先生のドミニカ共和国見聞録」／・理数教育フォーラム　第 24 号　2018.3　「ドミニカ共和国見聞録」／・夕学五十講　2018 年度前期講演リーフレット　（株）慶應学術事業会　5 月 25 日（金）秋山仁　「今日からあなたは Mathe-magician」／・理科大理窓会　リーフレット 坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト　写真／・南信州新聞　3 月 29 日　ラテン通信ドミニカ編 31　文・牧内博幸 「数学とサイエンスに弱いラテンアメリカの人たち」／・中日新聞　3 月 30 日　23 面・岐阜総合　「高木貞治博士を知って」故郷本巣に記念室オープン／・信濃毎日新聞　4 月 4 日　コンパス「不本意な進学や浪人　挫折を「よい経験」に変えよう」／・南信州新聞　4 月 4 日　ラテン通信ドミニカ編 32　文・牧内博幸「秋山仁先生の数学博物館オープン」／・信濃毎日新聞　4 月 5 日　聴講者募集の告知 「公立諏訪東京理科大 27 日開学式　秋山さん記念講演」／・岐阜新聞　4 月 1 日　13 面・岐阜地域「本巣出身の学者「高木貞治記念室」オープン」／・数学博物館研修評価　ドミニカ共和国教員養成院　El Inafocam promueve aprovechamiento del Museo de las Matemáticas／・長野新聞　4 月 28 日「公立化スタート祝う」茅野　諏訪東理大が開学式／・茅野市民新聞　4 月 28 日「地域に根ざした大学に」公立諏訪理大が開学式／・FEC News　2018. 5 月号　Vol.401　p6「ラテン・アメリカ初の楽しく学ぶ数学体験館のオープン」牧内博幸／・理二の学生・OBOG・先生が語る理科大 Voice－理学部第二部 HP　秋山先生のエッセイ 『理大生に贈る応援歌』http://www.tus-sci2.jp/voice/?id=1525748871-424305／・理窓会報　2018.5 月号　P8　　理窓博士会「毎年 80 名前後が新会員に」／・信濃毎日新聞　5 月 16 日　コンパス「不祥事相次ぐ世の中「坊っちゃん」の生き方見習って」／・T3　Teachers Teaching with Technology　Web　The 22nd T3 Japan Annual Meeting　巻頭言　http://www.t3japan.gr.jp/　／・信濃毎日新聞　11 面　コンパス　6 月 20 日「能

力ある子供への科学教育　大人のワクワク触れる場を」／・高木貞治博士記念室　リーフレット「本巣市数学のまちづくり学術アドバイザー」秋山 仁氏／・理数教育フォーラム　第 25 号　2018.7　「ラテン・アメリカ初の楽しく学ぶ数学体験館のオープン」牧内博幸大使／・信濃毎日新聞　コンパス　7 月 25 日「AI が通訳や計算担う未来　思考力など磨く学び重要に」／・表彰状　7 月 24 日　外務大臣より／・ 日本経済新聞　7 月 20 日　探訪サイエンス　東京理科大学近代科学資料館「数学を身近に感じる」／・ 祝賀会配布用　冊子　7 月 20 日　秋山研究室　「今日もまた締切日！～最近の記事から～」／・第 72 回　九州数学教育会総会並びに九州算数・数学教育研究（佐賀）大会　研究収録　P82－84　中学校部会講演「教えるとは希望を共に語ること。　学ぶとは誠実を胸に刻むこと」／・科学フォーラム　通巻 406 号　8 月 1 日　P62／・本「秋山仁の教育羅針盤－共に、希望を語ろう-」文　廣瀬和昭／・SSH 生徒研究発表会　ポスター「科学と対話する夏」基調講演「You can be a scientist from today～野に咲く可憐な花々に魅せられて～」／・第 100 回全国算数・数学教育研究（東京）大会　大会要項　P10　8 月 5 日「全体講演」，P19　8 月 4 日「市民講演」／・APCG 2018 Youth Camp　Note Book／・APCG 2018 タイの NEWS
https://www.thaipost.net/main/detail/16428
http://www.bangkokbiznews.com/news/detail/811689
https://siamrath.co.th/n/44553
https://news.thaipbs.or.th/content/274305　／
・坊っちゃん講座　チラシ　第 1 回「やりたいこと、それがあなたの天職！」／・信濃毎日新聞　コンパス　9 月 5 日　「金足農とスーパーボランティア　二大旋風　私達に問題提起」／・JCDCG3　IN MANILA 記録誌／・「タイショウ星人のふしぎな絵」中島さち子著　文研出版　推薦帯文／・JCDCG3 2001　IN MANILA　写真アルバム　2018 編集版／・理窓　9 月号　No.498　P18　秋企画展のお知らせ　「パラメトロン計算機の前で」／信濃毎日新聞　コンパス　10 月 10 日「学業と無縁だった少年が天文学者に　才能の発掘に必要なこととは」／・理数教育フォーラム　第 26 号　2018.10　理大数学体験館、オンリーワンを目指して／・TUS　Journal　Vol.211　2018.10.12　06 面　研究の面白さを知る「東京理科大学　坊っちゃん講座」を開催／・ドミニカの新聞報道と邦訳　10 月 5 日 Listin Diario 紙 “MATEMÁTICO JAPONÉS ELABORA TEXTOSPARA RD” “MATEMÁTICO JAPONÉS DISEÑA LIBRO RD” el Caribe 紙 “Dice matemáticas deben enseñarse de forma divertida” “Las matemáticas dan solución a probelemas de la vida cotidiana” ／・2018 年度公開シンポジウムのリーフレット　巻頭言「第 7 回国際科学オリンピック公開シンポジウムの開催に向けて」／・信濃毎日新聞　コンパス　11 月 14 日「優れた医師を送り出すために　資質を見抜き公正な選抜を」／・国際科学技術コンテスト　2018 年度版　科学技術振興機構 P9「努力の先にある喜びを科学オリンピックで体験してほしい」／・在ドミニカ共和国日本国大使館　HP　訪問記事、新聞記事、大使寄稿記事等（現在掲載作業中）（日本語）
https://www.do.emb-japan.go.jp/itpr_ja/cultura.html
（スペイン語）https://www.do.emb-japan.go.jp/itpr_es/cultura.html／・第 67 回　読売教育賞　読売新聞 11 月 4 日　特別面 14　講評：算数・数学教育／・第 67 回　読売教育賞表彰式　写真／・ドミニカ活動報告書（1-62 頁）秋山仁、山口康之 “ドミニカ共和国　数学教育支援プロジェクト第Ⅱ期　活動報告書” ／・駿台文庫 50 年のあゆみ　しおり　p16-17 創設 50 周年に寄せて「奇跡の出版社、駿台文庫」／・『技

術者倫理』実教出版（株）11 月 10 日出版　特別監修　p2-3　巻頭言「異文化の中で直面する 3 つの壁」, p19　コラム「幸せの定義」／・信濃毎日新聞　11 面　12 月 19 日 「高校で新教科「理数探究」導入へ　ヒト・カネ・モノ投資十分に」／・理数教育フォーラム　第 27 号「ドミニカ共和国数学支援プロジェクト―第Ⅲ期活動に向けての計画と課題―」／・東京理科大学　カレンダー１月の写真「ドミニカ共和国サント・ドミンゴ地区教員人材育成学院にて」